



消防千葉

2017 No.557 平成29年11・12月号

平成 29 年 12 月 1 日 編集兼発行人
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅
TEL043 (263) 9885
郵便番号 260-0801
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>
メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



いちはらクオードの森（市原市）千葉支部

巻 頭 言

「躍 進」

流山市消防本部 消防長 北野 浩一郎



首都25km圏内に位置する流山市は、千葉県北西部にあり野田市、柏市、松戸市及び埼玉県三郷市と周囲を接し、人口18万4千人、面積35.32km²の江戸川に沿った南北に細長い街を形成しています。

本市は、「都心から一番近い森のまち」をキャッチフレーズに、豊かな自然や歴史・文化を生かし、市民が真の豊かさを実感できるまち「みんなでつくろう価値ある流山」を将来都市像として総合計画を策定し、市民待望の都心への直結鉄道である、つくばエクスプレスの開業に伴う沿線整備と市街地形成を骨格としながら、市民が愛着と誇りを持てる街づくりを目指しています。

その防災を担う流山市消防本部は、昭和41年4月1日水槽付ポンプ車1台、職員数15名にて発足、その後、市の発展とともに建築物及び人口の増加に伴う消防署所の増設、職員数の増員を図り、現在は1本部3課・4消防署、職員数185名で市民が安心・安全に暮らせる街を目指して、消防業務遂行に努めているところです。

本市の消防行政は、つくばエクスプレス開通後の沿線整備開発に伴う中高層マンションの建設等、都市化へと変貌を遂げており、多様な災害にも対応できるよう、老朽化した消防本部・中央消防署の移転候補地を確保し、平成32年度以降から開始予定の庁舎建設の足掛かりとしていくことで消防力の充実・強化を図ります。

また、平成32年度には救急隊1隊の増隊を行い救急隊6隊体制とする計画で、救急業務の高度化及び救急出動件数の増加に対応した救急体制を構築します。

このような施設、装備の整備を実施するとともに、消防本部の基本方針である「市民サービスの向上を目指した組織整備と人材育成を行う」、「火災・救急等に、より迅速・的確に対応し市民生活の安全を高める」、「風通しの良い職場」の3点を推進するためには、職員一人ひとりが目的意識を持って、常に市民から信頼され、愛され、期待される存在であるべきと認識することが重要であり、職員個々の目的、目標、達成に向けて、自由な発想を引き出せる職場の雰囲気づくりに努めていきたいと考えております。

第23回 全国女性消防操法大会の開催

平成29年9月30日（土）、第23回全国女性消防操法大会が消防庁と公益財団法人日本消防協会の主催により秋田市向浜運動広場（こまちスタジアム）駐車場にて開催されました。

当日は、荒天の中、全国各都道府県の代表として選ばれた女性消防隊47チームにより小型ポンプの消防操法の技術が競い合われました。

9時15分から選手団が入場し、開会宣言の後、国旗掲揚、優勝旗の返還の後、稲山消防庁長官及び秋本日本消防協会長から「大きな被害をもたらした東日本大震災の後、これまでと異なる進路の台風や局地的な集中豪雨による風水害、土砂災害、各地での地震、火山噴火、さらには大規模な火災もありました。このようななか、私たちはどんな災害があっても生命を守り抜く消防防災体制を築かなければなりません。常備消防との緊密な連携のもと、地域にあっては消防団が中心的役割を果たし、地域の総力を結集する防災体制を築いていかなければなりません。そこで地域の実情をよく知る女性のパワーがこれまでも増して重要となります。女性の皆さんがこの消防操法を通じて得られたお力には大きな期待が寄せられています。」旨の挨拶がありました。

その後、村上全国消防長会会長等からの祝辞、開催地の秋田県知事からの歓迎の辞、選手宣誓がありました。



柏市女性消防隊の操法演技

10時から1コース（本部席側）と2コース（応援席側）に分かれて操法が開始されました。

千葉県からは、柏市女性消防隊が第2コースの10番目で出場しました。

指揮者のよく通る号令でスタートし、風雨のなか、51秒69のタイムをだしたが、得点が伸びず、惜しくも入賞を逃しました。

団体では惜しい結果でしたが、個人では優秀選手に裕富さんが選ばれ、表彰されました。

柏市消防団女性消防隊は、平成26年4月1日に柏市では初めての女性分団として14名で発足し、普段は普通救命講習指導や火災予防啓発活動、また水防演習訓練や規律訓練なども男性団員同様に訓練を行い、市民の安心安全に取り組んでいます。

スタンド及び一般席には、地元柏市や千葉県消防協会長、千葉県防災危機管理部長、千葉県消防学校長並びに東葛飾振興事務所、市原市、館山市など大勢の応援団が来場して、演技を見守っていました。

操法終了後、14時30分から優勝1、準優勝2、優秀賞3、優良賞6チーム、優秀選手10名の審査結果（別表参照）が審査長から発表されました。



柏市女性消防隊メンバー表	
	氏 名
隊 長	北村 綾香
指 揮 者	裕富 由美子
1 番 員	松田 香織
2 番 員	小川 友佳織
3 番 員	藤原 美貴
4 番 員	會田 順子
補 助 員	加藤 朋美



第23回 全国女性消防操法大会成績表		
成 績	都道府県	消 防 隊 名
優 勝	熊本県	人吉市女性消防隊
準優勝	岡山県	美咲町女性消防隊
	山形県	戸沢村女性消防隊
優秀賞	山口県	和木町女性消防隊
	茨城県	阿見町女性消防隊
	鳥取県	江府町女性消防隊
優良賞	長崎県	諫早市女性消防隊
	福岡県	久留米市女性消防隊
	栃木県	大田原市女性消防隊
	愛知県	江南市女性消防隊
	富山県	黒部市女性消防隊
	埼玉県	熊谷市女性消防隊

女性消防操法大会優秀選手		
	女性消防隊市町村名	選手名
指 揮 者	千葉県柏市	裕富 由美子
	熊本県人吉市	松島 泰代
1 番 員	熊本県人吉市	早田 真子
	鳥取県江府町	田枝 由起
2 番 員	熊本県人吉市	小田 薫子
	茨城県阿見町	横張 直子
3 番 員	静岡県静岡市	笹本 とよ子
	長崎県諫早市	山口 笑佳
4 番 員	愛知県江南市	澤田 佳奈子
	岡山県美咲町	かた山 実与

第53回 消防殉職者慰霊祭の開催

平成29年10月19日（木）に「第53回消防殉職者慰霊祭」が、千葉県、公益財団法人日本消防協会の後援により、千葉県消防学校屋内訓練場において、ご遺族、ご来賓、消防関係者など約300人のご参列をいただき、午前10時より、厳粛に執り行われました。

この慰霊祭は郷土防災の使命を果たして、その職に殉じた御霊を慰め、あわせて消防士気の高揚と防災思想の普及を図るため毎年実施しているもので、今年で53回目となります。

合祀されている殉職者は、消防組時代29柱、警防団時代11柱、消防本部・消防団時代の50柱、そして消防協力者6柱、あわせて96柱となっております。

式典は小田山消防協会副会長の開式のことばで始まり、慰霊碑に拝礼の後、袖ヶ浦市消防音楽隊の演奏による国歌斉唱が行われ、司会者の案内により消防殉職者96柱の御霊に対し参列者全員により黙とうをささげました。

その後、石橋 毅千葉県消防協会会長から、「我々消防人一同は、御霊のご遺訓を受け継ぎ、心を新たに団結を強め、地域防災に力を尽くし、安全で安心な社会を実現するため精進努力することを誓います。」と式辞を述べられました。



石橋協会長の式辞



高橋副知事の追悼の言葉



小高県議会議長の追悼の言葉

次に千葉県知事代理として出席された高橋 渡千葉県副知事から「皆様が身をもって示された崇高な志は、今もなお三万四千余の消防人に脈々と受け継がれるとともに、最愛御肉親を失われたご遺族の胸中にも大きな誇りとして生き続けているところ存じます。県としましても、防災関係機関と一致団結し、決意を新たに防災対策の一層の充実に努め、災害に強い千葉県づくりを進めていくことを、皆様の前でお誓いいたします」と知事の追悼のことばがささげられました。

その後、小高千葉県議会議長及び県内市長会会長の清水鎌ヶ谷市長及び県内町村会会長岩田東庄町長から追悼のことばがあり、最後に、倉田最高名誉顧問からの追悼のメッセージが披露されました。

続いて関係者、遺族の方々から、消防殉職者慰霊碑に献花が行われました。

最後に、遺族を代表して清水敏美様から「これからも故人の遺志を継いで、力強く生きていく所存でございます。」とのお礼の言葉及び石橋消防協会長からのお礼の言葉が述べられ、椎名消防協会副会長の閉式のことばにより、消防殉職者慰霊祭を滞りなく終了しました。



遺族等の献花の様子



遺族等の献花の様子



遺族等の献花の様子



お礼のことば（清水遺族代表）



お礼のことば（石橋協会長）

平成29年度関東地区女性(婦人)防火クラブ 連絡協議会幹部地域研修会の開催

平成29年10月6日(金)ルポール麹町(東京都)において1都6県からおおよそ90名が出席し、関東地区女性(婦人)防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会が開催されました。

まず、主催者である井上東京都実行委員会会長、安武東京都総務局総合防災部防災管理課長、西藤(一財)日本防火・防災協会理事長からの挨拶があり研修会に進みました。



井上タカ子会長 挨拶



安武防災管理課長 挨拶

最初に、竹内会長はじめ、茨城県、群馬県、埼玉県、神奈川県、東京都の各都県会長等による活動事例の発表が行われました。



西藤防火・防災協会理事長挨拶



活動事例を発表する竹内会長

その後、東京消防庁技術安全所の施設見学が行われました。
千葉県からは竹内会長外3名が参加しました。



第36回全国消防殉職者慰霊祭

平成29年9月14日(木)、「第36回全国消防殉職者慰霊祭」が日本消防会館ニッショーホールで殉職者遺族、各県の消防協会関係者等の出席により執り行われました。

昭和23年の自治体消防発足以来、旺盛な郷土愛護と崇高な消防精神に燃え、全国の消防職団員による地域に根ざした防災活動の展開のなかで、残念なことに毎年消防殉職者が発生しており、その御霊は新たに合祀した15柱を加えて5,751柱を数えております。

式では秋本敏文日本消防協会長の式辞、内閣総理大臣(代理野上内閣官房副長官)野田総務大臣及び遺族代表の追悼のことは、参列者の皆様の献花が行われた後、江戸消防記念会による鎮魂の歌(木遣り)が披露されました。

千葉県からは遺族の方5名と君津市、佐倉市及び山武市の職員並びに千葉県消防協会会長など10名が参加しました。



式辞を述べる秋本日本消防協会長



内閣総理大臣(代理野上内閣官房副長官)の追悼の言葉



野田総務大臣の追悼の言葉



遺族による献花



(一社)江戸消防記念会による鎮魂の歌(木遣り)

第41回 空気呼吸器装着訓練の開催

平成29年10月12日（木）午後1時30分から千葉県と千葉県高圧ガス地域防災協議会の主催により、毒性ガスによる災害事故が発生した場合に、事業所の従業員が適切な防災活動を行えるよう空気呼吸器の適確な装着と迅速な作業方法を習得することを目的として、県内のコンビナート地区及び内陸部の高圧ガス関係事業所の従業員による第41回空気呼吸器装着訓練が千葉県消防学校屋外訓練場において開催された。

各事業所1チーム2名で選抜された31事業所62名、2コースに分かれて、スタートからゴールに至るまでの所要時間、空気呼吸器の装着等の作業が、一定の方法により完全に行われたか否か及び防災キャップ等が、完全に装着されているか否かを競い、成績優秀な7事業所が次のとおり表彰されました。

1 経済産業省

関東東北産業保安監督部長賞

三井化学(株)茂原分工場

2 千葉県知事賞（優秀賞）

日立化成(株)五井事業所

3 千葉県知事賞（優良賞）

出光興産(株)千葉事業所

4 厚生労働省千葉労働局長賞

デンカ(株)千葉工場

5 高圧ガス保安協会会長賞

三井・デュポンポリケミカル(株)千葉工場

6 千葉県高圧ガス地域防災協議会会長賞

J X T G エネルギー(株)千葉製油所

7 一般社団法人千葉県高圧ガス保安協会会長賞

日本曹達(株)千葉工場



高校生を対象とした 消防活動一日体験講座(第2回)開催

県消防課では、平成29年10月7日(土)に高校生を対象とした第2回「消防活動一日体験講座」を市原市消防局及び帝京平成大学と共同で、開催しました。

本講座は地域防災を担う若い世代の消防活動に対する理解や将来的な消防職員・団員の確保につなげようとするもので、県内各地から34名の高校生の参加がありました。

当日の午前中は、悪天候予報により中止しましたが、午後からは無事講座を開講することができ、帝京平成大学健康医療スポーツ学部医療スポーツ学科小川助教授による「救命講習」、「実習用救急車の試乗」及び「放水体験」が行われました。



その後、市原市消防局、消防課の現役消防士との座談会を実施し、消防活動に関する様々な疑問について、活発な意見交換が行われました。

講座終了後には、修了証書を授与、最後に記念撮影を行い閉講となりました。



わが町の消防団 ① 栄町消防団

栄町は、千葉県の北部、利根川流域に位置し、東は成田市、南は印旛沼、西は印西市、北は利根川をはさんで茨城県に接し、東京都心より45キロメートル圏に入り、千葉市からは35キロメートルの距離で、成田国際空港へは10キロメートルのところに位置しています。総面積は、32.51平方キロメートルで東西に約12キロメートル、南北に約5キロメートルの東西に細長く、東部は一带に高台で、山林や畑が多く南部及び西北部は平坦で豊かな水田地帯が広がっています。

当町の消防団は、大野団長と団本部を中心に5分団22部編成で、268名の団員により、消防ポンプ自動車7台、小型動力ポンプ付積載車15台を運用し、各種災害対応と年間の事業計画を基に訓練等を行っております。

年間の事業計画の一部を紹介しますと、4月1日の辞令交付式・役員会議から始まり、5月に操法・規律訓練を実施し、6月には町操法大会を行い、昼夜を問わず訓練した成果を披露しました。10月には地区別防災訓練、また、11月には火災を想定した、中継訓練と各部巡回を行い歳末に向けての火災予防啓発活動を行います。年が明け、1月には恒例の新春消防出初式が行われます。

今年1月の出初式では、新たに消防防災の将来の担い手として



栄町少年消防団が発足し、3月の火災予防週間に啓発活動として、町内のスーパー2店舗に出向き、啓発用チラシ等を配布しながら、町民一人一人に声を掛け啓発を行いました。啓発用チラシを受け取った町民の方々からは「頑張ってるね」と逆に声を掛けられていました。その他の活動として、4月の規律訓練、6月の町操法大会時には、来賓者・一般来場者の前で消防操法演技を披露し、大人の消防団員に負けない演技を披露し、称賛を受けました。また、安食台地区で行われた自主防災組織の各種訓練に参加し、機敏な行動に好評価をいただきました。

また、町の防災教育の一環として昨年度は、NPO法人防災士会の防災士を講師



に招いて、地域住民・少年消防団員など関係者による防災講演会をふれあいプラザさかえ大会議室において開催しました。住民の参加者からは「大変勉強になり私たちでできる事は自分たちでやらないといけないね」と、参加者一人一人が防災に対する意識の高揚につながりました。

今後は、減少傾向にある消防団員確保を目的として、機能別消防団員制度を活用し、消防団員を退団した方々の再入団、町内企業に働きかけ勤務地消防団員等を組織し、消防力強化を図ると共に「自助・共助・公助」といった「住民・地域・行政」とが一体となって、防災体制に取り組み、より安全で安心な消防防災体制の確立を目指します。



わが町の消防団 ② 芝山町消防団

芝山町は千葉県の北東部成田国際空港の南側に隣接し、山武郡の最北端、首都60km圏の地点にあり、緑豊かな大地と古い歴史に囲まれています。

昭和30年7月に二川村と千代田村の2村が合併して芝山町が誕生しました。

町名の由来は、廃藩置県前の明治2年から1年半存在した柴山藩と奈良時代後期に創建された芝山仁王尊観音教寺の名称に因んでいます。

町の地形はおおむね平坦で町の東には高谷川、西には木戸川が南北に流れております。この流域は稲作地域となっており、毎年良質なお米が収穫されています。

また、北西部の丘陵地では畑作が盛んで、夏はスイカ、秋冬人参、花きも栽培されておりサンダーソニアは全国一の生産量を誇ります。気象についても上総の風土の特徴である温暖な気候に恵まれ、基幹産業である農業に適した郷土となっておりますが、空港に隣接している関係から物流施設等多くの法人が存在し、自然と都市の両方に触れ合える町となっております。

芝山町消防団は7分団19部から成り、小川団長をはじめとする総勢356名で組織されております。日頃の活動としては火災予防週間、歳末特別警戒や台風などの災害時に行うパトロールはもとより2年に1度行われている芝山町消防ポンプ操法大会や各部が連携して水利から火点まで送水し放水する芝山町消防団中継訓練を通じて各団員の機械操作技術及び防災意識の向上に努めております。このように芝山町消防団は地域防災の中核となっておりますが、それだけではなく町行事にもなくてはならない存在となっております。

町行事の町民体育祭においては地域の一員として競技へ参加する傍ら、消防団独自の分団対抗ムカデリレーや分団対抗階級別リレーなどを行うことで、笑いが生まれ、ムードメーカー的な存在になっています。そのほかでも、はにわ祭やカウントダウン花火などの町行事では警備業務や駐車場管理業務をこなし、様々な場面を支えています。

これからも、芝山町消防団は地域防災の中核を担いつつ町行事などを通じて地元にも密着した団であることを心がけて活動していきたいと思っております。



東 西 南 北

東 西 南 北 火災原因調査研修を実施 松戸市消防局

松戸市消防局第三方面本部予防担当室は、平成29年8月中に計6回、各消防署にて、消防署の調査員を対象とした、火災原因調査技術研修を実施しました。

この研修は、過去のたばこに起因する火災事例を使用し、原因調査要領の確認及び出火原因を検討する研修や、ガソリン等の残渣物を使用し、北川式ガス採取器の取扱い訓練を行いました。また、たばこに起因したごみ箱の燃焼実験を行い、無炎燃焼から有炎燃焼に移る過程等の確認を行いました。



東 西 南 北 話し上手の育成 ~第1期生が卒業~ 千葉市消防局

市民に伝わる広報をするために、消防士も話し上手である必要があります。当局では2年前から、若き22名の職員に対し、毎年1回の“研修”と、消防イベント司会などの“実践”を通じ、話し上手な消防士を育成してきました。

そしてこの度、今年度分の研修（通算3回目）を実施。今回も、2年前から講師をお願いしている相澤静先生に、実践的な講義を行っていただき、これをもって受講職員は卒業です。彼らには今後、消防広報の“次世代リーダー”としての活躍が期待されます。



安全・安心な情報が、市民にしっかりと伝わるように、今後も継続的に養成していきます。

東 西 南 北 気象に関する研修会を開催 柏市消防局東部消防署

柏市消防局東部消防署では、平成29年9月1日（金）に株式会社ウェザーニューズから講師を招き気象に関する研修会を開催しました。この研修会には職員約80名が参加し、一般的な気象知識から台風、ゲリラ豪雨の発生メカニズム等を学ぶ事ができました。

また、柏市における水害被害の特徴、水害への対応等を再確認し現場活動に活かせる有意義な研修会となりました。今回の研修会を受け、各職員水害に対する意識向上に繋がりました。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

平成 29年 11月・12月

- 11月1日 防災・消防活動出前講座(市原八幡高校)
- 4日 消防活動啓発イベント(淑徳大学千葉)
- 16日 全国女性消防団員活性化広島大会(広島県)
- 21日 全国救急隊員シンポジウム(千葉市)
- 28日 千葉県女性消防団員活性化シンポジウム(千葉市)
- 30日 関東甲信地区事務局長会議(山梨県)
- 12月19日 千葉県消防協会臨時理事会(千葉市)
- 19日 千葉県消防協会コンプライアンス委員会(千葉市)



平成29年度 全国統一防火標語
「火の用心 ことばを形に 習慣に」

平成29年 冬の交通安全運動
 12月10日(日)から12月19日(火)
スローガン ~気のゆるみ 一杯だけが 命とり~

<表紙の説明>

いちほらくオードの森(市原市)千葉支部

「いちほらくオードの森」は、約117万平方メートルの面積を誇る自然公園です。さまざまな動植物を観察することができる遊歩道10コースやキャンプ場、菖蒲園にアジサイ園などを有し、夏にはアユのつかみ取りや流しソーメンといったイベントも数多く開催され、四季を通じて楽しむことができます。

また、11月下旬から12月下旬にかけて公園を彩るクリスマスイルミネーションには、市内外から多くの人々が訪れます。森林に囲まれた自然の地形を生かし、数十万球のLED電球が配置された手作りのイルミネーションは壮観で、今注目の観光スポットとなっています。

